



ロシアによるウクライナ侵略が始まって1か月半。ウクライナの惨状が次々と明らかになっています。一刻も早くロシアの侵攻をやめさせなければなりません。3月25日に発表された声明とアピールを紹介します。

声明 ウクライナ侵略とそれを口実にした9条破壊、改憲は許さない

2022.3.25 九条の会事務局

ロシアによるウクライナへの国際法、国連憲章を真っ向から蹂躪した侵略に対して、日本でも強い抗議の声と行動が起こっています。ところが、侵略開始直後から、このウクライナ侵略を口実に、「9条で国は守れるのか」、「力のみを信奉する相手には力でしか対抗できない」（国家基本問題研究所「意見広告」）と称して、9条の破壊と改憲を一層推し進めようとする言動が勢いを増しています。

ロシアによる侵略開始直後の26日には、林芳正外相がプリンケン米國務長官と会談し、ウクライナ侵略を引き合いに出して、対中国を念頭に「日米同盟の抑止力・対処力の強化」を約束しました。翌27日には、安倍晋三元首相が、米国の核兵器を日本にも配備し共同で運用し「有事に」使用する「核共有」の議論を始めるべきだと主張し、自民党幹部や維新の会が呼応しました。「敵基地攻撃能力保有」の必要性も、一層声高に語られています。

明文改憲を煽る主張も活発化しています。3月13日に開かれた自民党大会で挨拶した岸田文雄首相は、ウクライナ侵略を「我が事として捉え」防衛力の強化と共に党是である改憲の実行に取り組むこと、「そのための力を得るたたかいが来たる参院選だ」と訴えました。衆参両院で開催された憲法審査会においても、自民党や維新の会の議員は口々に、「力による現状変更の脅威」を口実に、緊急事態条項の創設など改憲案の審議の必要性を主張しています。

しかし、今回のウクライナ侵略が明らかにしたのは、軍事力と軍事同盟の強化は軍事対決・挑発を激化させ国際社会を分断させるだけで、平和の実現に寄与するどころか戦争と武力行使に帰結する、という事実他にありません。いま、自民党や改憲勢力が「台湾有事」を口実に強行しようとしている日米軍事同盟強化と改憲の道では、日本とアジアの平和を実現することはできません。9条を持つ日本政府の責務は、国際社会の分断を修復し、ロシアの侵略に反対し、アジアの紛争を武力によらないで解決する枠組みを作るために各国に働きかけることです。断じて、改憲、9条破壊を許してはなりません。

ロシアによる侵略以来1ヶ月、すでに地域・草の根で、「憲法改悪を許さない全国署名」などを手に、ウクライナ侵略に抗議し、便乗した改憲策動に反対する市民の行動が展開され、多くの共感が寄せられつつあります。

市民の行動、市民と野党の共闘は、安倍、菅政権が企てた改憲を阻んできました。この力に確信を持ち、市民の皆さんが、ロシアによる人道破壊攻撃と侵略の即時停止と共に、それに名を借りた、改憲と9条破壊の企てを阻むために、立ち上がられることを訴えます。

改憲、9条破壊NO!の声と行動を強め、来たるべき参院選では、市民の力で改憲勢力3分の2を阻みましょう。



集会等の紹介

**以下の案内があります。

今後の状況によっては中止もありますので、
ご注意ください。

5月3日(火・憲法記念日) 11:00~

改憲発議許さない! 守ろう平和といのちとくらし 2022 憲法大集会

メインスピーチのテーマ: <憲法審査会>

<ジェンダー>

<沖縄・日米地位協定>

<外国人・入管問題>

場所: 東京・有明防災公園(東京臨海広域防災公園・東京都江東区有明 3-8-35)

主催: 平和といのちと人権を! 5.3 憲法集会実行委員会

アピール

侵略行為に強く抗議！ ロシアはただちにウクライナから撤退せよ！

2022年3月25日

世田谷区内九条の会

ロシアが軍事侵攻した2月24日から1ヶ月、ウクライナでは今日も病院、学校、市民の避難所への無差別攻撃で、多くの民間人・子どもが殺傷され、住宅・文化財ほか庶民の生活基盤が根こそぎ破壊されています。その惨状は目をおおうばかりです。ロシアは国連憲章と国際法を踏みにじるこうした非人道的な侵略行為をやめ、ウクライナから直ちに撤退することを強く求めます。

ロシア・プーチン大統領は、国内では、反戦を訴える市民を強権的に拘束し、国外の批判や経済制裁に対しては、核兵器大国であることを誇示し、核の使用をちらつかせて脅す姿勢を示していることは許しがたいことです。

このプーチンの蛮行に乗じて、日本国内では、自民党を筆頭として、米国との核共有、従来枠を超えての防衛費大幅増、9条を含む憲法の改悪を一気に進めようとする動きがあります。しかし、これは、際限のない武力依存に向かうスパイラルの道であり、日本国民を戦争に巻き込む危険な道です。



3/26 世田谷区民集会 於：若林公園

今、日本政府がなすべきことは、唯一の戦争被爆国として、核兵器禁止条約を直ちに批准し、武力によらない国際紛争の解決を宣言する日本国憲法をかかげる日本国民の立ち位置を明確にし、戦争被害者の人道支援と、一刻も早い停戦に向け、最大限の外交努力を払うことです。

私たちは、世田谷区内に住み、働く皆さんに、ともに反戦平和の声を上げていくことを広くよびかけます。

ロシアはただちにウクライナから撤退せよ！

エスカレートする武力で平和は守れない！

日本政府は、今こそ核兵器禁止条約を批准し、核兵器廃絶の先頭に立て！

日本政府は、憲法に従い、被災者の人道支援と、停戦仲裁で国際貢献せよ！

世田谷、弦巻・新町、代沢、代田、烏山地域、桜丘・経堂、

成城・祖師谷、深沢、まつざわ

各九条の会

有志

久しぶりの駅前「憲法改悪を許さない全国署名」活動

3月27日（日）13:00～14:00 梅ヶ丘駅前で、コロナ禍で中断してきた「憲法改悪を許さない全国署名」の宣伝・署名とウクライナ支援募金の活動を行いました。ロシアのプーチン政権によるウクライナ侵略が始まってから1ヶ月以上になります。憲法九条で本当に平和は守れるのかという声が聞かれますが、「軍事対軍事」では果てしのないエスカレート戦に陥ってしまいます。憲法9条を生かした外交が必要です。「ロシアは侵略をやめろ」「国連憲章を守れ」「国際人道法を守れ」の声を、大きくあげることが力になるのでしょうか。



3/27 梅ヶ丘駅前 撮影：小沢満吉

当日は9名が参加し、署名5名、ウクライナ支援募金1400円でした。

コロナ禍になる前は、同じ1時間で署名27名～48名寄せられていることからみると、現在の複雑な情勢の中で「改憲もやむを得ないのか」と考える人が増えているのかと不安に思いました。参加した人の感想を載せましたので、ご意見をお寄せください。

(代田5丁目・小澤 清子)

【感想】

- * 子どもの反応がよかったです。小学生です。ビラ受け取ろうとして親に止められた子もいました。若い女性一人署名してくれました。またやりたいです。(K)
- * 他国への軍事侵攻に心を痛めています。無秩序の時代が来ませんように (T)

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～
+++ このニュースを、ぜひ、周りの人に広めてください。 +++